



事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道307号信楽道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線の甲賀市では、人口と製造品出荷額は近年減少傾向であるものの、全国と比較し高い伸びを示している。また自動車保有台数は増加傾向にある。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成12年度に1工区を事業化、平成16年度に2工区を事業化、  
 用地進捗率23%、事業進捗率20%（平成27年3月末時点）  
 平成19年度：甲賀市信楽町黄瀬 延長0.08km 2車線開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業の実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

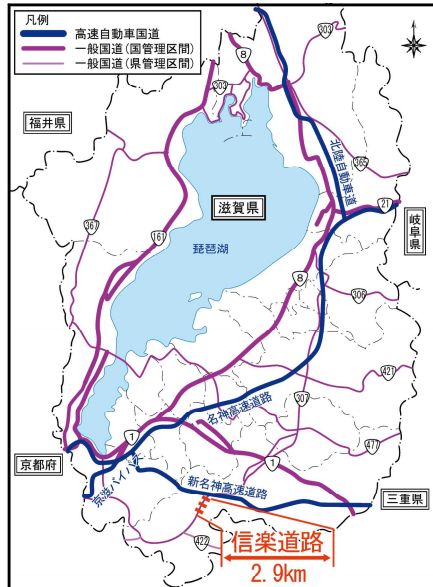
事業継続

対応方針決定の理由

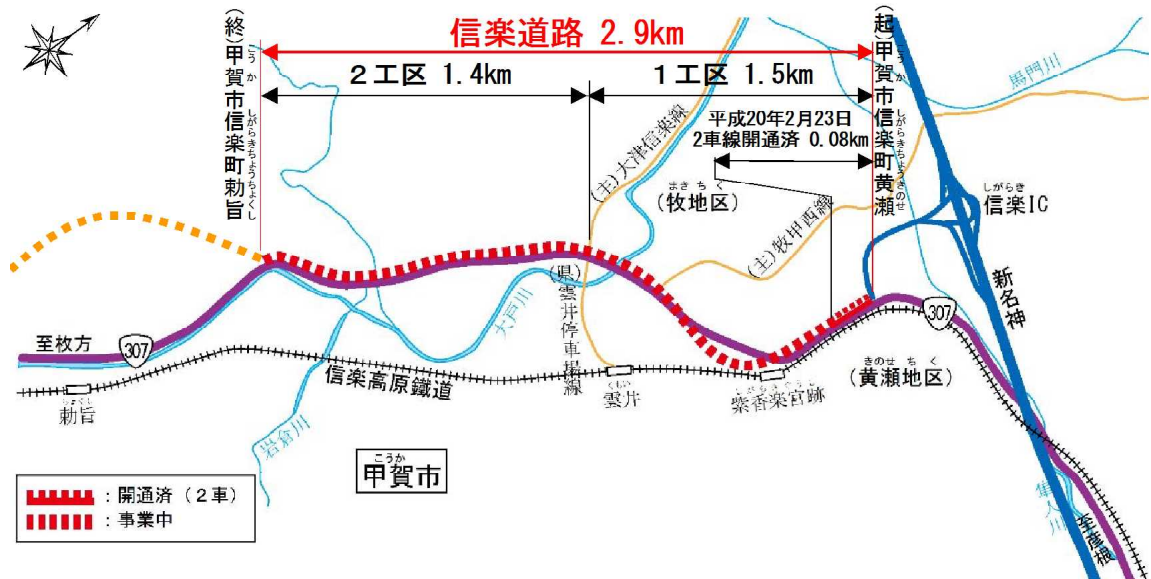
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。